

しんじゅく 創業1丁目

新宿区立高田馬場創業支援センターニュースレター



SPECIAL

クリエイターとしてランクアップするための起業塾を開催

当センター主催による『ワンランク上のクリエイターとして独立したい方のための起業塾（クリエイター特化起業塾）』は、3月7日（土）に第6回の講座を終え、全6回シリーズが終了しました。第3回から第6回までの講座の様子をご紹介します。

※第1回、第2回については前号(vol.21)でご紹介しています。



第3回 2月14日(土)
『編プロ編集者に聞く。仕事面で何が変わるの？フリーランスと法人』

講師：有限会社ノオト
代表取締役 宮脇 淳 氏

紙媒体とともに黎明期の Web へのライティングや編集にも取り組み、大手企業サイトのメディア化等への事業展開につなげた宮脇淳氏。フリーのライターから法人化するまでの道のりをお話しいただくとともに、資金調達や人材確保、職場環境、社内制度の整備等、会社経営の課題にどのように取り組んできたかについて紹介していただきました。



第4回 2月21日(土)
『プロのイラストレーターに聞く。仕事を受注し続ける上で外せないポイント』

講師：イラストレーター、法廷画家、漫画家 榎本 よしたか 氏

ほのぼのとしたタッチを中心にし、法廷画等のリアルタッチイラストまで幅広く手掛け、エッセイ漫画「トコノクボ」の作者でもある榎本よしたか氏に、多くの方が勘違いしやすい芸術家と商業クリエイターの違いについて解説していただきました。また、クリエイターの心構えや売り込みの方法等、クリエイターとして起業を目指すうえで参考になるお話しも伺いました。



第5回 2月28日(土)
『税務のプロに聞く。気になる税金や活用できる補助金の話』

講師：税理士法人アンビシャス
代表社員 鈴木 信二 氏

クリエイターといえども、独立起業、事業継続をするうえで避けては通れない会計・税務について、中小企業支援に豊富な経験を持ち、横浜国立大学の非常勤講師や東京税理士会中小企業支援対策委員を務める鈴木信二氏にお話しを伺いました。会計記帳の重要性や経営分析への活用、税務のポイントから補助金等の支援制度まで幅広く知ることができました。



第6回 3月7日(土)
『事業計画発表会』

コーディネーター：当センターIM(インキュベーションマネージャー)
田中 健一朗

参加者による事業計画発表会では、クリエイターのスポンサー探しを支援する事業の提案や婚活、着物をテーマに高齢者のスキルを事業化する提案が発表され、参加者との質疑応答も活発に行われました。また、当センターIMの田中健一朗が小規模事業者持続化補助金の説明、起業塾全体のまとめを行いました。

NEWS

スタートアップの本質やワークスペースをシェアすることの意味を探る



「Startup Weekend」日本法人
理事長 李東烈氏

3月21日（土）、当センター主催による創業セミナー『気になる！スタートアップ、本当のところ。増える！シェアするワークスペースの実際』を開催しました。

セミナーでは、アメリカで生まれた、週3日間で行う起業プログラム「Startup Weekend」日本法人の理事長・李東烈氏が、スタートアップの本質や日本における特徴等について解説。また、シェアオフィスやコワーキングスペースの運営に取り組む株式会社シェアカンパニーPM事業部長・前川佳美氏、株式会社CMSソリューションズ代表取締役・荻澤篤志氏、リプライズ合同会社マスター・河村奨氏によるパネルディスカッションも行われました。

目次

SPECIAL

クリエイターとしてランクアップするための起業塾を開催

NEWS

スタートアップの本質やワークスペースをシェアすることの意味を探る

VOICE

利用者紹介

花鳥風月 代表
原 緋彩恵 さん

■ 起業のきっかけを教えてください。

長い間、家族の介護に専念していた私には、いざ働こうと思っても何をしたらいいのかわかりませんでした。地域の職業相談窓口等でお話を伺ったところ、就職だけでなく起業という方向もあるということを知りましたが、具体的な事業プランがすぐに思いつくはずありません。そんなときに、私の地元が高田馬場創業支援センターができ、創業セミナーが開催されることを知りました。何かヒントをつかめればと思い参加し、それがきっかけで、福田稔IM(インキュベーションマネージャー)と面談していただくことができました。そのときにセンターがスタッフを募集していることを知り、まずは社会経験を積もうと応募し、センターで働かせていただくことになりました。様々なビジネスに取り組む利用者の方々とお話しをすることはとても良い勉強になりました。また、起業家支援のため、地元の高田馬場との連携を深めたいというセンターの取り組みをサポートする中で、自分の強みである地元とのご縁を活かし、子どもの頃から慣れ親しんだ“和の文化”をテーマに起業しようと考えました。

■ 現在の事業について教えてください。

若い人や外国の方に、和食や茶道等を体験していただくことで、日本文化の“おもてなしの心”を伝えていこうというのがコンセプト。お茶室を使った本格的な体験講座はもとより、正座に慣れていない外国の方のためにイスに座って楽しむ「テーブル茶道」や、ゆかたの着付けを教えるイベント等を実施しています。また、外国の方が母国に帰っても楽しめる日本料理を覚えてもらおうと、みそを使ったお料理やおむすび作りの体験イベントも実施しました。情報収集や集客には、地元の英会話カフェに協力していただき、高田馬場に事業所やお店を持つメーカーさんからも応援していただくことで、内容を充実することが出来ました。

■ 当センターをご利用しての感想は？

私のように高田馬場をメインステージに活動する者にとって、センターに入居していることは、物心両面で有利だと感じています。打合せの場所として最適ですし、地域とセンターとの結びつきが私の事業の大きなバックボーンになっています。そして、困ったり、分からないことがあるときには、いつもセンターの皆さんに力になっていただいています。

■ 今後の抱負についてお聞かせください。

東京オリンピックの開催が決定し、観光産業に対する注目が高まっています。この流れを踏まえ、行政や地元の企業、学校、団体、商店等と連携して、高田馬場に海外の方が興味を持っていただけるような観光資源が開発できればと思っています。高田馬場で生まれ育った私も何かお役にたてればと思います。



Profile

新宿区高田馬場生まれ。実家のお寿司屋さんを手伝いながら、調理師、栄養士の資格を取得する。また、茶道、華道にも造詣が深く、起業のきっかけにつながっている。2012年2月に当センターが開催した創業セミナーに参加したことがきっかけで、当センターのスタッフとして勤務。利用者対応等の他、当センターが地元との連携を深めるうえで大きな役割を果たす。センター退職後、2014年1月より利用者として起業に取り組む。



茶道体験教室の様子

新宿区立高田馬場創業支援センターのご案内

志を共有し、リスクを最小限に、利益を生む仕組みづくりを応援する伴走者として、起業・経営革新を全力でサポートします。

創業支援メニュー

- ・オフィススペースの提供
- ・各種相談(経営・戦略・資金・販促)
- ・コミュニティ連携の機会提供
- ・ビジネスコンビニ機能
- ・利用者交流会の開催

主な施設

- ・シェアードオフィス(10席)
 - ・個室オフィス(2室)
 - ・会議室兼商談室(18席)
 - ・交流スペース
 - ・相談室・資料スペース等
- ※ 同建物内にございます。新宿消費生活センター分館の会議室(36名)、調理室兼商品テスト室もご利用(有料)になれます。

利用(入居)のご案内

ご利用にあたっては、必ず当センターの見学・利用相談を受けてください。そのうえで、必要書類をご提出いただき、事業計画の具体性、実現可能性等を審査し、承認された方に限りご利用いただけます。

■ 募集期間: 募集は定員になり次第終了します。募集状況については当センターホームページ等でご確認ください。

■ 定員: 32名

■ 利用期間: 6カ月間 ※3回まで更新可、最長2年間

■ 開館日: 年中無休 ※年末年始(12/29~1/3)を除く

■ 利用時間: 8:30~24:00

お問い合わせ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目32番10号

Tel 03-3205-3031 / Fax 03-3205-1007

Email incu@shinjuku-center.jp / URL <http://incu.shinjuku-center.jp>

お知らせ

施設利用者の募集方法の変更(随時募集)について

これまで、施設利用者の募集については、3ヵ月毎に行なっていましたが、利便性向上のため随時受け付けることになりました。

また、申込みを行なう前に、当センターにお越しいただき、必ず施設見学・利用相談をしていただくこととなりました。

詳細は、当センターホームページ(<http://incu.shinjuku-center.jp>)をご覧ください、お気軽にご相談ください。

新宿区立高田馬場創業支援センター

ニュースレターしんじゅく創業1丁目

発行人: 田中 健一郎 編集者: 本田一禎 デザイン: 伊藤 理江

発行No: 第2014-022号 発行日: 2015年4月30日(隔月発行)

指定管理者: 有限会社そーほっと